

『私のおすすめの1冊』(7月分)

書 名	著 者	出版社	コメント
罪の轍	奥田英朗	新潮社	宇野の生い立ちから「男児誘拐事件」に至ってしまう「罪の轍」。 宇野を追う刑事たちの執念に感服。 昭和 38 年の時代背景がよく伝わって587ページ一気読みでした。 同じく奥田英朗の「リバー」もおすすめ!!

※『私のおすすめの1冊』を募集しています。

所定の用紙に記入の上、投入箱へお願いいたします。

岩美町立図書館